

3. 住民意見交換会の概要（一部抜粋）

(1) 住民意見交換会実施概要

- ▶ 目的：日頃の移動で困っていることや改善してほしいこと等をワークショップ形式で話し合う
- ▶ 実施内容：海津市の公共交通の現状を説明後、グループごとに意見交換（1 時間程度）を行い、その結果を発表
- ▶ 実施時期：8月22日～9月10日、いずれの日も19:00～21:00

地区名	実施日	実施場所	参加者数
高須地区	9月2日(月)	海津市総合福祉会館「ひまわり」 研修室	12人
吉里地区	8月22日(木)	吉里小学校 多目的教室	7人
東江地区	8月23日(金)	東江小学校 多目的教室	21人
大江地区	8月28日(水)	大江小学校 多目的教室	11人
西江地区	8月29日(木)	西江小学校 多目的教室	10人
今尾地区	9月3日(火)	ふるさと会館 会議室	11人
海西地区	9月5日(木)	海西公民館 多目的室	5人
城山地区	9月4日(水)	文化会館 大会議室	13人
下多度地区	9月10日(火)	みかげの森「プラザしもたど」 研修室	24人
石津地区	8月27日(火)	南濃農村改善センター 多目的ホール	19人
全地区共通	9月7日(土)	海津農村改善センター 農事研修室	10人

(2) 意見交換会で住民から出た意見（一部抜粋）

- 地域特性に関するもの
 - 名古屋への直線距離が近いにも関わらず、名古屋への交通は遠回りを強いられ、不便である。
 - 羽島市、輪之内町、養老町といった近隣市町と連携すべき。
- 鉄道・路線バスに関するもの
 - 愛知県（津島市・愛西市・弥富市等）への直通バスを運行してほしい。
 - 毎日だけでなくもいい（曜日限定でいい）ので路線バス（巡回バス）を復活してほしい。
 - バス路線再編の際、飛行機のハブ&スポークの考え方を取り入れられないか。
 - 養老鉄道とバスとの乗り継ぎ時間に余裕が無い。
 - イベントの日に、電車やバスを増発したり特別運行したりできないか。
- デマンド交通に関するもの
 - 特定の個人の利用が大半を占めているため、予約が取りづらい。そのため、デマンド交通の利用を諦めた人が多い。
 - デマンド交通の車両を小型化できないか。また、運行台数を増やせないか。
 - デマンド交通の周知の方法が不十分ではないか。
 - デマンド交通と福祉有償運送を融合できないか。
- 新たな移動サービスに関するもの
 - 「まごの手」のような方法をもっと拡大できないか。
 - 地区社協ともっと連携すべきではないか。
 - 住民主導で新たな移動手段を考えるという方法もあるのではないか。
 - 将来的に、（法改正が必要であるが）白ナンバーによる交通手段も視野に入れるべき。
- その他
 - 乗る人の意見を反映してほしい。
 - 公共交通が不便なので運転免許返納ができない。特典を考えるべきではないか。
 - このような会は、バスの運行している時間に開催してほしい。

(3) 各地区の特徴的な意見

高須地区	■駒野駅からのタクシーを使う場合に不便である。
吉里地区	■津島市へのバスがほしい。
東江地区	■名鉄津島駅や近鉄弥富駅へのバス路線がほしい。
大江地区	■大江地区は岐阜県、愛知県、三重県の県境、つまり東海地方の中心に位置する。 ■人の移動は高須地区や岐阜県方面でなく、三重県桑名市や愛知県弥富市方面である。 ■木曽三川公園周辺は観光資源が多く、これらを活かすべき。
西江地区	■養老鉄道が使いづらい（バスとの乗り継ぎが不便等）。
今尾地区	■ヨシツヤとのタイアップを考えられないか。 ■お千代保稲荷のバス停の位置が目立たず、わかりづらい。
海西地区	■名古屋へ向かうには、名鉄の勝幡駅、国府宮駅へ向かうことが多い。 ■海西地区から大垣の高校へ通うのは大変である。
城山地区	■岐阜羽島駅へバスを運行できないか。
下多度地区	■コミュニティバスの復活を望む。 ■オークワへのバスによる買い物ツアーを企画できないか。
石津地区	■養老鉄道に急行を運転してほしい。

(4) 住民意見交換会での発言内容の分析

意見交換会での発言について、テキストマイニングの手法により、単語の頻出状況や単語間の相関を分析し、その結果を図化

【以下の単語が頻出（全地区共通）】

- 交通手段について
 - デマンド
 - 予約
- 地名について
 - 名古屋
 - 愛知
 - 弥富
- 方法について
 - サービス・周知
- 施策について
 - 福祉
 - 社協
 - 観光

